



発行日
12. 4. 1
第 356 号
会員数 163 名
武蔵台剣友会
渉外・広報部



後輩が入ってきます。先輩としての心構えはできていますか。がんばっていきましょう。

新年度を迎えるにあたって

未曾有の震災に見舞われあわただしく新年度のスタートを迎えることとなりました。震災に遭われた方々に対し、改めてお見舞いを申し上げます。また、剣友会としても先日の方の役員会で義援金支援を全員一致で可決させて頂きました。

振り返れば22年度は猛暑の夏に見舞われる中、小学校体育館も耐震工事の関係で6月から8月が使用できない状況となり、役員はじめ父母会にも大変お世話になり、稽古場所を転々としながらどうにか子供たちの稽古時間を確保することができました。また、年明けの1月には、川崎名誉会長の訃報にも接することとなりましたが、葬儀を通して先生の残されたことの偉大さを改めて感じさせて頂きました。また、この歴史ある武蔵台剣友会のみならずの発展を願っていた先生の遺志を継いで一致団結していく必要性を改めて認識した次第です。

本年度は、来年30周年を迎える剣友会の更なる中身の充実を図っていきたくと思っています。具体的には、当会で学ぶ子供たちの成長支援と大会会員の親睦の強化です。剣道を学ぶこと、続けることの素晴らしさができるだけ子供たちとまた大人同士で共有したい、そんな工夫を少しでも展開していきたいと考えています。ドシドシご意見をお寄せ下さい。またその一環として役員に理事長のポストを久しぶりに復活させて頂き、原本先生にお引き受けいただきました。そして、当会で育った先輩たちにも指導部に、桑原先輩、小池（哲）先輩、事業に三田先輩、林（雅）先輩にもご協力いただくこととなりました。引き続き皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

これからも剣友会を通じ剣道の素晴らしさにお互いが接し、語り合い、子供たちと共に成長していきましょう。これからの季節が剣道にとっても最もいい季節です。是非稽古でお会いしましょう。

いあいせい

父母会会長 日高 香

本年度、父母会会長を務めさせていただく事になりました、日高 香です。

2人の子供たちと主人が入会してから丸3年がたちました。子供たちは、剣道を通じて、先生方や仲間たちからたくさんのお話を学ばせてもらいました。親として大変感謝しております。父母会会長としては、まだまだ経験が浅く、今までの様にやっていくのか心配ですが、周りの人たちの力を借りながら、頑張っていこうと思います。

今年度は、30周年という事もあり、父母会としても精一杯お手伝いさせていただきます。力不足な事もあるかと思いますが、1年間よろしくお願い致します。

4月の予定

4月7日(土)
飯能地区剣道連盟
定期総会及び稽古会
飯能市民体育館
総会 15:00 ~ 2 階会議室
錬成会 16:00
サブアリーナ

4月14日(土)
第39回埼玉県
少年剣道錬成大会
埼玉県立武道館 9:30 開会

4月14日(土)
西部地区合同研修稽古会
入間市武道館 14:00 ~

4月15日(日)
宮寺剣友会春季錬成会
入間市武道館 13:00 開会

2012.03.19

2012(H24)/4月度 稽古日程、当番表

場所: 武蔵台小学校体育館

4月

1日(日曜日)	9:00～12:00	5日(木曜日)	稽古なし
	梅澤		
8日(日曜日)	稽古なし	12日(木曜日)	19:00～21:00
			米山
15日(日曜日)	9:00～12:00	19日(木曜日)	19:00～21:00
	金子		日高
22日(日曜日)	9:00～12:00	26日(木曜日)	19:00～21:00
	戸田		大内
29日(日曜日)	春季部内試合		

雑巾・お茶用フキンは、次回当番の方が洗濯して下さい
(理由: 持ち忘れ・紛失をなくすために)



発行日
12. 4. 1
第 357 号
会員数 163 名
武蔵台剣友会
渉外・広報部



後輩が入ってきます。先輩
としての心構えはできていま
すか。がんばっていきな

ご挨拶

指導部長 小池 俊久

剣友会、父母会の皆様いつも大変お世話になっております。
今期も引き続き指導部長をさせていただくことになりました。身の引き締まる思いです。
前期は訳もわからず仲間に助けられて何とかやってきました今期も相変わらずですが仲間の力を
借りながら進めていきます。

子供たちへの指導については基本を大切に将来大きく伸びていく稽古を指導部として取り組ん
でいきます。

昨年入会した三十一期生も担当先生方のご尽力により大きく成長され活力が出てきました。また
競争心も芽生えはじめています。先輩達も同様です。この状況を大切にしながら継続して新入会員
を増やすよう努力していきたいと思えます。元気のいい子供たちが溢れ、お互いに切磋琢磨できる
よう頑張っていこうと思います。

それには顧問の先生方、諸先生、父母会様のご協力と支えが必要です。
子供達が剣友会に入って良かったと思える一年にします。
よろしくお願い致します。

試合結果

藤沢剣友会 50周年記念剣道大会

日時 3月17日 於、入間武道館
出場選手

日高彩乃、日高諒久、金子歩未、白井瑛美、
川崎和司、大内啓太、今井朋佳
試合形式 7人戦
結果

東藤沢、藤沢、西武の3チームと戦い初戦の東藤沢に快勝を
納めました。他2チームにも果敢に挑みましたが惜敗でした。
皆よく頑張りました。
6年生は小学生ラスト試合でしたがそれぞれ得意技でいい
試合をしていました。中学生は安定した剣道を見せてくれまし
た。今後が楽しみです。

第33回武陽旗関東少年剣道大会

日時 2月25日 於、駿河台大学体育館
結果 1回戦(対 剣桜会)
4対0-1引分 で敗退

第7回 西東京市剣友会剣道大会

日時 3月20日 於、西東京市スポーツセンター
結果

小学4年生以下の部	
日高彩乃	0 - 2
森本備子	0 - 2
清水竜之介	0 - 2
田口真那人	0 - 2
青柳幸作	0 - 2
小学5、6年生の部	
日高諒久	0 - 2
戸田結夏	0 - 2
梅澤悠吾	0 - 2
岩間 凌	0 - 2
白井俊太郎	2 - 0 (1回戦)
	0 - 1 (2回戦)
中学生男子の部	
真鍋拓也	0 - 2
一般男子の部	
植田國弘	2 - 1 (延長 1回戦)
	2 - 1 (2回戦)
	2 - 1 (3回線)
	0 - 1 (4回線) ベスト 8



発行日
12. 4. 1
第 358 号
会員数 163 名
武蔵台剣友会
渉外・広報部



後輩が入ってきます。先輩としての心構えはできていますか。がんばっていきなさい。

新年度を迎えて

武蔵台剣友会 理事長 原本 十一郎

会員の皆さん、新入学、進級おめでとうございます。新年度を迎えて、新しい出会いやこれまでの友達との別れもあったことと思います。人間は、日々伸びていくため、数々の試練を乗り越えて一步一步成長していくものです。

樹木の年輪は、確実に一年一年を刻んで大きくなっています。木が集まって森をつくり、動物や地球と共に育んでいます。森は、長い年月をかけて形造られていきます。剣道も、一通り基本を修得しただけで試合に勝てるものではありません。

守：基本を忠実に学び、繰り返し繰り返し稽古に励む。

破：基本技を応用に転じ、たゆまぬ努力を重ねて会得する。

離：先生や先輩の技を盗み、自分の技として確立する。

得意技を伸ばすのか、全体的に技量を上げて行くのか？それは、鍛練の道程のなかで変わって行くものです。初心者の段階では、教えを一所懸命に学んで、いろいろな技をまんべんなく覚える必要があると思います。そして、級や段が上がるにつれて得意技をつくり、自分の技として試合などで活かすことができるようになれば、素晴らしいことだと思います。

これは勉強にも通じるもので、小学校低学年のうちは先生の教えを聞いて幅広基本知識を身に付けて行く必要があると思います。そして、身についた知識を集めて、専門知識へと掘り下げ、やがては知恵に展開していくことが理想だと思います。剣道と勉強に共通して言えるのは、「コツがある」と言うことです。そのコツを会得するには、日々の努力を怠らぬことです。

何れにしても、剣道の理念にもありますように、剣道を通じて人間形成を行い、心身共の鍛練により、立派な剣道人を目指していただければと思います。千里の道も一歩から！長い道程ですが、初志貫徹いただけることを切に願いますし、私は、子供たちと一緒に育んでいけることを楽しみとしています。

武蔵台剣友会も今年創設30周年を迎えますが、これから歴史を刻んでいくのは、子供たちの役割だと考えています。これから、積極的に多くの仲間を誘って、そして互いに切磋琢磨できる剣友会を目指して行きたいと思いますので、今年も一年、ご協力よろしくお願いいたします。

「礼」について

剣道において1回の稽古の中で、だいたい何回の「礼」を行っているか考えたことがあるでしょうか。

稽古場に入る時の礼、入ってから先生方への礼、保護者の方への礼、先輩・仲間への礼から始まって、神前（正面）への礼、先生（目上）に対する礼、お互いの礼、下の者に対する礼、そして稽古の中での「お願いします。」「有難うございました。」などと数えていくと、1回の稽古の中でいったいどれくらいの数の礼をしているのでしょうか。

先日読んだ本の中に、少なくとも55回ほど、多い人では80回ぐらいはしていると書いてありました。また、稽古方法によってはもっと多くなるとのことです。

剣道では1回の稽古でこれだけの「礼」を行っています。相手を敬う心の表れが「礼」と言われます。「礼」重んじ、きちんと正座して、静かな心になって、相手を尊敬して稽古をお願いすることが大切であることはいうまでもありません。新年度、もう一度「礼」について考えてみたらどうでしょうか。